

宮崎県再生可能エネルギー等導入推進計画

策定にあたって

1. 策定の背景

～背景～

- 再生可能エネルギーの一層の導入推進
- 再生可能エネルギー導入と自然環境保護の両立
- 地球温暖化対策の一層の推進
- 南海トラフ巨大地震への懸念
- 資本流出や地方衰退などの問題

2. 計画期間

2019年度～2022年度

エネルギーを取り巻く状況

1. エネルギーを取り巻く社会情勢の変化

自然災害に起因する被害

自立・分散型エネルギーの必要性

地球温暖化の進行

現状を上回る努力がなければ2100年に世界平均気温が3.7～4.8度上昇

2. 本県におけるエネルギーの現状

新エネルギー導入状況

太陽光、バイオマス発電の導入が増加

本県における温室効果ガス排出量

2030年度までに2013年度比で▲26%削減が目標

ビジョン

基本目標

再生可能エネルギーによる持続的な社会の構築

地域で必要なエネルギーを地域の再生可能エネルギーで作出し、利用することができる社会
再生可能エネルギーにより地域振興が図られるとともに、自然環境との調和のとれた社会

基本方針

「創エネ」の定着

「省エネ」の定着

「将来にわたり持続可能な社会」を実現するための体制構築

分野別施策

再生可能エネルギー等の導入促進

省エネルギーの推進

持続可能な社会づくりのための体制の構築

施策の展開

1 再生可能エネルギーの導入支援

【太陽光発電】

- 余剰電力の自家消費事例の情報提供
- 長期間使用するための管理に関する情報提供
- 中小企業への発電設備の整備資金の貸し付け
- 電力の地産地消の推進 等

【バイオマス】

- 畜ふんボイラー施設の有効利用、安定稼働の支援(畜産)

【水力・小水力発電】

- 施設の適切な規模や配置等に係る助言等(木質)

【蓄電池等】

- 防災拠点や避難所となる施設に対する蓄電池等の導入による非常時の電力確保 等

2 可能性調査・実証実験

- 導入可能性調査や実証実験等に対する支援

3 普及啓発

- セミナー開催、環境保全アドバイザー派遣 等

1 産業・業務部門（事業者向け）

- セミナーの開催
- 積極的な取組に対する表彰
- 省エネルギー活動の取組の支援
- 県有施設へのLED等省エネ設備の導入 等

2 家庭部門

- 電気使用量削減に対する取組の支援
- 燃料電池普及促進のため、設置者への支援
- ZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）に係る情報提供
- 地域住民と協働した、低炭素社会の実現を目指す普及啓発 等

3 運輸部門

- アイドリングストップなどの励行指導
- 温室効果ガス排出量の少ない自動車の普及促進
- 公共交通機関の利用の促進

1 景観や自然環境に配慮した再生可能エネルギーの導入

- 再生可能エネルギーに関する最新の法令等の情報収集、事業者の法令遵守の徹底
- 地域の実情に応じ、景観に配慮を求めた再エネの導入

2 太陽光パネル等の適正処理推進のための指導體制の検討

- 国のガイドラインに従った処理のための指導體制づくりの検討

3 エネルギー関連産業への地場企業の参入支援、研究開発の促進、情報提供

- 水のガイドラインに関し、セミナー、研究会を開催し、水素関連産業への参入促進 等

4 産学官連携の研究開発の支援

- 産学官連携等を活用した研究開発や技術開発への取組を支援 等

各主体の役割

県・市町村

- 地域特性を生かした再生可能エネルギーの導入促進
- 地産地消のための情報提供、普及啓発 等

県民・事業者

- 再生可能エネルギーの導入の意義、必要性の理解促進
- 再生可能エネルギー、省エネ性能の優れた設備導入

大学・研究機関

- 産学官の交流事業や共同研究への参加
- 更なるエネルギー効率向上に向けた研究

発電等事業者（住宅用太陽光発電も含む）

- 長期間の発電を行うために必要な定期点検等の実施
- 設置予定箇所の周辺環境に対する配慮等地域との共生

市民活動団体

- 再生可能エネルギーの普及、省エネの推進について積極的な情報提供

導入見込量

エネルギー種別	設備容量	
	2017年度 (平成29年度)	2022年度 (令和4年度)
太陽光発電	996,739kW	1,212,700kW
バイオマス発電	90,261kW	112,400kW
小水力発電	7,661kW	10,000kW
水力発電 (小水力発電を除く)	996,640kW	1,001,600kW
風力発電	16,000kW	112,800kW
地熱発電	0kW	2,000kW
発電部門 合計	2,107,301kW	2,451,500kW

エネルギー種別	設備容量	
	2017年度 (平成29年度)	2022年度 (令和4年度)
太陽熱利用	20,515kL	22,600kL
バイオマス熱利用	36,763kL	39,900kL
バイオマス燃料製造	6,405kL	11,400kL
温度差熱利用	22kL	100kL
熱利用等部門 合計	63,705kL	74,000kL